

市政に対する 一般質問

9月定例会では21人の議員が市政全般について質問を行いました。
一般質問は、新型コロナウイルス感染症対策のため出席者を必要最小限にして実施しました。



学校施設の長寿命化計画と公共施設等総合管理計画との整合性について

無所属 白川 秀嗣 議員

問 小中学校の長寿命化計画では、耐用年数を80年間に延ばすもので、令和3年から5年間で37校が対象となっている。しかし今日まで1校の実績もなく、今後も全く実現性の見通しが無いにもかかわらず、計画書が市民に公開されているのはなぜか。
教育長 現在小中一貫教育の推進に向け、3学園構想の校舎建設等に注力している。体育館の空調化やLED化の計画もあり、今後市長部局と連携して対応していく。



校舎の耐用年数を80年に延ばす
令和3年度スタートの計画は実行性ゼロ



市内全小中学校の体育館等へのエアコン設置について

自由民主党越谷市議団 伊藤 治 議員

問 全小中学校の児童・生徒や教職員、そして避難所機能の強化のためにも体育館へのエアコン設置を早急を実施すべきであり、併せて経費節減の観点から武道場へも設置すべきと考えるが。
市長 全小中学校体育館への早期実現を目指していく。また、緊急防災・減災事業債の活用も含め今年度の補正予算での対応を検討するとともに、武道場への設置に関しても実施する方向で検討していく。



自治体の構造改革の一環として「政令指定都市」を目指すことについて

無所属 小出水 宏泰 議員

問 「埼玉県東南部都市連絡調整会議」において、将来の「道州制」への移行の可能性を踏まえつつ、「政令指定都市」への移行の可能性を探るため、他市町との意見交換をする考えは。
市長 自治体どうしが合併をし、さらには「政令指定都市」への移行を目指すにあたっては、市民の皆さんの機運が高まり、そして、醸成されていくことが何よりも大切なことと認識している。



安心安全な市内の通学路のあり方について

立憲・市民ネット 清水 泉 議員

問 通学路において電柱があると、児童は車道側によけて、車とすれ違うこととなり危険である。市の無電柱化推進にあたり、通学路を無電柱化する考えは。
市長 越谷市無電柱化推進計画の策定に取り組んでおり、主に幹線道路を候補としている。通学路については、安全・円滑な交通確保の観点から候補路線の一つと考えられるが、電柱の道路敷地外への移設や道路拡幅整備等の課題を踏まえ、検討していく。



住民が「使いたい」と思う公共交通について

日本共産党越谷市議団 山田 大助 議員

問 市役所、市立病院等の「住民が行きたい場所」に向かうバス路線に対して、その場所からの距離や不便地域を通る距離に応じて、補助をする考えは。
市長 予算を投入するならば使ってもらいにはどうすれば良いのか、住民にデマンド交通等の結果を知らせて、広く意見を伺う機会を設けるように検討している。他の自治体の取り組みや、その提案も一つの参考として、今後どうするか考えていきたい。



インクルーシブ遊具や公園の現状・今後の計画について

立憲・市民ネット 大田 ちひろ 議員

問 市内のインクルーシブ遊具や公園の現状と今後の計画は。
市長 現在インクルーシブ遊具を導入している公園はないが、西大袋土地区画整理事業地内の(仮称)西大袋第1号公園に、インクルーシブ遊具の整備を令和5年度予定している。今後、近隣公園規模以上の公園を対象に新規の公園を整備する場合や既存の公園での大規模改修の際に、インクルーシブ遊具の導入について検討する。



まんまるよやく(県東南部地域公共施設予約案内システム)について

越谷刷新クラブ 野口 高明 議員

問 まんまるよやくは、埼玉県東南部5市1町にある公共施設予約ができる5市1町共通の施設予約システム。連絡調整会議の会長は越谷市長、事務局は越谷市総合政策部政策課。今後、システム改修の予定は。
市長 システムの大規模な改修は予定していないが、今後それぞれの施設における利用状況や運用方法、事務手続きも十分精査し、より一層利便性の高いシステムとなるよう5市1町で協議していく。



越谷市が行っているヘドロ対策について

越谷刷新クラブ 浅古 高志 議員

問 市街化調整区域では、昔から生活排水を流す排水路、いわゆるどぶが存在しており、ヘドロや蚊等の発生に対して長年市民中心に清掃を行ってきた。しかしながら高齢化等の影響により清掃などの対応が取れなくなりつつあるが、今後の市の対応は。
市長 高齢化により清掃を行う事が困難になっている事は認識をしている。今後とも皆様のご協力をいただき、生活環境の向上に努めていく。



Jアラート等市民への通知方法と考え方について

自由民主党越谷市議団 野口 和幸 議員

問 Jアラートによる緊急情報等、避難が必要な事態や災害発生状況を大型ビジョンに表示しているのは埼玉県内では大宮駅のみ。駅前大型ビジョンを活用し、さらにこの情報を多言語で表示してはどうか。
市長 大型ビジョンを活用した周知は大変有効であると考えている。本年度の越ヶ谷地区総合防災訓練で越谷駅東口の大型ビジョンの活用を検討する。併せて南越谷駅前の大型モニターの活用も検討していく。



越谷駅東口の大型ビジョン



障がい者の福祉避難所への直接避難に向けた取り組みについて

公明党越谷市議団 久保田 茂 議員

問 越谷市における障がい者の福祉避難所への直接避難に向けた取り組み状況は。
市長 障がい特性により急激な環境の変化への対応が難しい方でもちゅうちょすることなく避難行動が取れるよう、障がい者の対応が可能な8施設を含め、各福祉避難所と早期に直接避難ができる体制の整備に向け協議を進めている。福祉避難所の拡充に努めるとともに、関係機関と連携し、要配慮者の避難支援体制の整備を推進する。